

や篩部に、幅  $2\sim 5\mu$ 、長さ  $2\sim 5\mu$  の殿粉粒が皮部全体に、アルカリで反応するかった色、赤かった色のエモジンよう物質がコルク層や放射組織を中心に各々分布している。

# ○高等植物分布資料 Materials for the distribution of vascular plants in Japan.

95 カゴメラン *Goodyera hachijoensis* Yatabe var. *matsumurana* (Schltr.) Ohwi  
カゴメランは亜熱帯性ランで、その分布はこれまで台湾、琉球、屋久島、種子島から甌島まで北上分布することが知られ、甌島が本種分布の上限とされていた。ところが筆者は 1976 年 9 月 24 日、これを長崎県壱岐島東北部の芦辺町諸津で発見した。生育地は古い社叢で、クスノキの老木 5 本を中心にうっそうと茂る常緑樹林内である。この最初の発見地では花は満開期であったが、葉は何れも無模様のものばかりであった。つぎの場所では個体数のおよそ 1/3 が無模様で、残りは全部かご目状の美しい白い模様のあるものであった。前川文夫博士によると（書信）、葉の模様は南方では白い網目であるが、北方では無模様にもなるとのことである。壱岐は甌島からさらに 200 km も北方高緯度の地で、理由はともかく前川博士の指摘と符合している。

（長崎県壱岐郡郷ノ浦町、品川鉄摩）

□ 小野蘭山、島田充房著、奥山春季解説、**花彙** 上、下。pp. 223+225+38. ¥ 2200+2300. 八坂書房、東京 (1977, IV)。花彙全 8 巻は 1759 年に草部 1 巻及 2 巻、残り 6 巻は小野蘭山により 1763 年に出版されたもので、本書の底本としては国立公文書館・内閣文庫所蔵の 1765 年刊行のものを使った。草部と木部に夫々 100 種ずつを挙げて、2 冊とし、右ページに図を、左ページに解説を挙げている。我が国で最初に出版された科学的な植物図譜という点で他を抜いて、その図の確かさは定評がある。解説として奥山氏が現行の学名に整頓し、関係の図版の出版や考証との校合を行っているのも親切である。

（前川文夫）

花彙は今更いうまでもなく宝暦年間の作なれど、この覆刻版は明和 2 年版に依った由。花彙の出来た頃は本草書の上梓が多く、したがってそのえいきょうするところ少なかったため、例の Savatier 氏の如きも相当に参考されて、この本の図版を除いた部分を仏文で Livres-Kwai なる小冊子とされ、そのかき出しのところで、日本の文化の程度を欧州人が理解出来るようにしたと述べているから、その点で文化史的価値のあるものとして注意すべきものと思われる。

（久内清孝）